



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

Express5800/R320a-E4

Express5800/R320a-M4

ユーザーズガイド(セットアップ編)



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8800-143

Express5800/R320a-E4

N8800-144

Express5800/R320a-M4

ユーザーズガイド(セットアップ編)

本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告




人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(本書での表示例)



注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容は次のとおりです。

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。
---	--------------------------------------	---	-------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

本装置を安全にセットアップするための具体的な注意事項は「安全に取り扱うための注意を覚える」(1-2ページ)を参照してください。

商標について

ESMPROとEXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。Xeonは米国Intel Corporationの商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。VERITASは、米国およびその他の諸国におけるVERITAS Software Corporationの登録商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2008はWindows Server® 2008 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 Enterprise operating systemの略称です。

Windows Server 2003 x64 EditionsはWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略称です。Windows Server 2003はWindows Server® 2003 R2 32-bit Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2 32-bit Enterprise Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows VistaはMicrosoft® Windows Vista™ Business operating systemの略称です。Windows XP x64 Editionは、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。Windows PEはMicrosoft® Windows® Preinstallation Environmentの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

商標/特許について

DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。AVOCENTおよびDVC(DAMBRACKAS VIDEO COMPRESSION)は米国AVOCENTの米国およびその他の国における登録商標または商標です。MozillaはMozilla Foundationの商標です。Netscapeは、Netscape Communications Corporationの米国および諸外国における商標または登録商標です。Javaの名称はSun Microsystems, Incの米国および諸外国における商標または登録商標です。

米国特許番号 5,732,212/5,937,176/6,633,905/6,681,250/6,701,380 その他申請中。

台湾特許番号 173784

ヨーロッパ特許番号 0 740 811

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、弊社のExpress5800/ftサーバシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Express5800/ftサーバシリーズは、Express5800シリーズの「高性能」、「拡張性」、「汎用性」といった特長に加え、耐故障性に優れた「高い信頼性」を考慮し、開発された「Fault Tolerantサーバ」です。

万一の障害の発生においても二重化により、障害箇所を瞬時に切り離すことで業務に影響を与えることなく継続して動作し、片方のモジュールからもう一方のモジュールへの業務引き継ぎがスムーズに行われ、業務に与えるダメージを最小限に食い止めることが可能なシステムである本装置は、高い可用性を要求される基幹業務においても安心してお使いいただけます。また、Windowsオペレーティングシステムの採用により、汎用アプリケーションを適用することができるなど、オープン性にも優れています。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置を正しくセットアップしてください。

本書について

本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときにご利用ください。

本書および別冊のユーザズガイドは常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

本書の読みかた

本書は、本装置の購入後、システムの運用ができるまでの手順について説明しています。1章から順番に読み、記載されている説明に従った操作をすれば、正しく本装置をセットアップすることができます。




4章では、購入時に本装置に組み込まれているオペレーティングシステムをセットアップする場合(初めて電源をONにするときのセットアップ手順)と新たにオペレーティングシステムをインストールし直す場合(OSを再インストールするときのセットアップ手順)を分けて説明しています。セットアップの目的に合わせて読み分けてください。5章では、インストール完了後に必要な各種作業の手順を説明しています。なお6章「故障かな?と思ったときは」では、うまくセットアップできなかった場合の対処方法が記載されています。本装置のシステム設定や修復に関する情報は「システムの修復」(6-2ページ)、「セットアップに失敗したかな?」と思うようなことがあった場合は、「トラブルシューティング」(6-16ページ)をご覧ください。

なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。

本装置の運用やハードウェアおよびシステムの具体的な機能・操作の説明は別冊のユーザズガイドを参照してください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。


 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイド、および添付のDVDに収められているオンラインドキュメントの一部は、次のホームページからダウンロードすることができます。

PCサーバ サポート情報(<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>)

目次

 安全にかかわる表示について	ii
はじめに	v
本書について	vi
本書の読みかた	vi
本文中の記号について	vii
本書の再購入について	vii

1 ご利用になる前に

安全に取り扱うための注意を覚える	1-2
警告ラベルについて	1-2
安全上のご注意	1-3
全般的な注意事項	1-3
電源・電源コードに関する注意事項	1-4
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	1-6
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	1-7
運用中の注意事項	1-8
ラックマウントモデル(モデルR320a-E4/R320a-M4)に関する注意事項	1-9
箱の中身を確認する	1-11
付属品について	1-11
本体について	1-12
装置の輸送について	1-13

2 オペレーティングシステムについて

Windows Server 2008/Windows Server 2003	2-2
本装置がサポートしているOSについて	2-2
OSの再インストールについて	2-3
各種ユーティリティの自動インストールについて	2-3

3 サーバの設置

本体を設置する	3-2
ラックマウントモデルの設置	3-2
ラックの設置	3-2
ラックへの取り付け ～N8140-74/92/93/94/98/99～	3-4
ラックからの取り外し ～N8140-74/92/93/94/98/99～	3-11
タワーコンバージョンキットの取り付け ～ N8843-003 ～	3-12
タワーコンバージョンキットへの取り付け	3-14
周辺機器と接続する	3-18

4 Windowsのセットアップ

セットアップを始める前に	4-2
初めて電源をONにするときのセットアップ手順	4-2
OSを再インストールするときのセットアップ手順	4-2
セットアップの流れ	4-3
初めて電源をONにするときのセットアップ手順	4-4
Step A-1 初めて電源をONにするときのセットアップ手順の開始	4-4
Step A-2 起動監視機能の設定を無効にする	4-5
OSを再インストールするときのセットアップ手順	4-9
Step B-1 OSを再インストールするときのセットアップ手順の開始	4-10
作成するパーティションサイズについて	4-11
Step B-2 OSを再インストールするときのセットアップ手順の前準備	4-13
Express5800/ftサーバ本体の準備	4-13
Step B-3 起動監視機能の設定を無効にする	4-16
Step B-4 シームレスセットアップ	4-20
注意すべきハードウェア構成について	4-21
セットアップの流れ	4-22
セットアップの手順	4-23
Step B-5 マニュアルセットアップ	4-37
インストールの準備	4-37
Windowsのインストール	4-39
ドライブ文字の修正手順	4-50
Step C-1 Windowsセットアップウィザード	4-51
Step C-2 各種オプション装置の接続・設定を行う	4-52
Step C-3 各種ソフトウェアのアップデート	4-53
Step C-4 Service Packインストール	4-54
Step C-5 LANの二重化を設定する	4-55
概要	4-55
本装置における二重化のルール	4-56
二重化の設定	4-57
Step C-6 ディスクの二重化を設定する	4-67
RDR(Rapid Disk Resync)機能によるディスク二重化手順	4-67
システムディスクの二重化手順	4-69
データディスクの二重化手順	4-73
Step C-7 ボリュームの作成	4-78
Step C-8 ESMPRO/ServerAgent向けのネットワークの設定	4-79
Step C-9 起動監視機能の設定を有効にする	4-81
Step C-10 障害処理のためのセットアップ	4-82
メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	4-82
ユーザーモードプロセスダンプの取得方法	4-90
ネットワークモニタのインストール	4-92
回復コンソールの設定	4-94
Step C-11 システム情報のバックアップ	4-95

5 インストール完了後の作業

管理ユーティリティのインストール	5-2
システムのアップデート	5-2
ESMPRO/ServerAgent	5-3
動作環境	5-4
セットアップを始める前に	5-4
インストール	5-7
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	5-9
アンインストール	5-10
ESMPRO/ServerManager	5-11
エクスプレス通報サービス	5-12
ft Server Control Softwareのバージョン確認方法	5-13
Windows サービスパックの適用	5-14
Windows サービスパックの適用に関する注意	5-14
Windows サービスパックの適用	5-14
システムドライブの圧縮について	5-16
Windows Update(セキュリティパッチ適用)について	5-17

6 故障かな？と思ったときは

システムの修復	6-2
Windows Server 2003 回復コンソールを使用する際の注意点	6-2
1. 「ローカルセキュリティポリシー」の設定	6-2
2. 環境変数「AllowRemovableMedia」の設定	6-3
準備	6-4
Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000+Internet Explorer 6.0、Windows Vista、Windows XPで動作するコンピュータをお持ちではない場合	6-4
Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000+Internet Explorer 6.0、Windows Vista、Windows XPで動作するコンピュータをお持ちの場合	6-5
回復コンソール起動方法	6-6
システムに回復コンソールをインストールする方法	6-6
回復コンソール起動方法	6-6
システムのアップデート	6-9
ft Server Control Softwareのインストール	6-14
トラブルシューティング	6-16
EXPRESSBUILDERについて	6-16
Windowsのセットアップについて	6-17
シームレスセットアップについて	6-19
ESMPROについて	6-20
システムの修復について	6-21
付録 情報サービスについて	付録-1
索引	索引-1

~Memo~

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

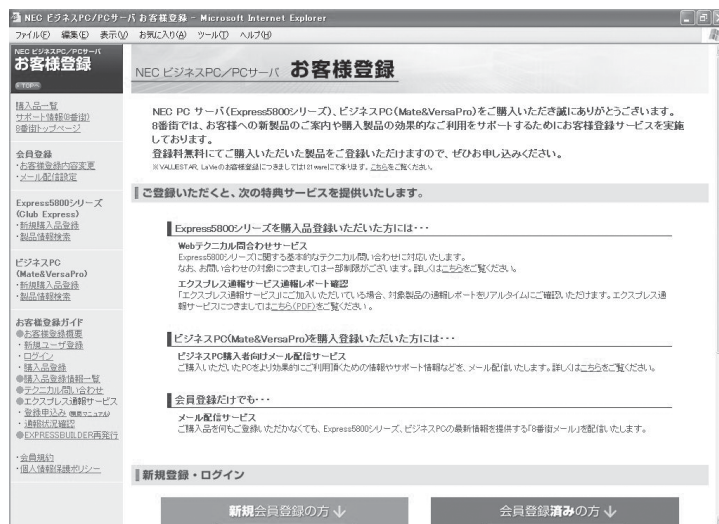
- ESM/PRO/ServerManager インストレーションガイド
- エクスプレス通報サービス インストレーションガイド
- エクスプレス通報サービス(HTTPS) インストレーションガイド
- DianaScope オンラインドキュメント
- EXPRESSSCOPEエンジン2 ユーザーズガイド
- 19インチラック ユーザーズガイド

ユーザ登録をしましょう！

弊社では、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページ

<http://club.express.nec.co.jp/>

にてご登録ください。



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。是非、ご覧ください。